

松が枝周辺エリア整備計画（素案）について

# 目 次

<b>第1章 重点エリアの整備に関する方針</b>	1
1. 「長崎市中央部・臨海地域」都市・居住環境整備基本計画の概要	2
2. 重点エリア指定の経緯	6
<b>第2章 重点エリアの土地利用に関する事項</b>	11
1. 関連する他の計画等の状況	12
2. 土地利用ゾーニング及び骨格基盤施設	16
<b>第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項</b>	17
1. 都市の魅力の強化	
① 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」・「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進	17
② 「長崎歴史の道」整備の推進	18
③ 景観条例に基づく景観保全の推進、景観計画による誘導（建築物等の色彩、意匠、高さ規制等） 伝統的建造物群保存地区の保存	19
④ 夜間景観の創造（夜間照明・水際のライトアップ）	21
⑤ 環長崎港地域アーバンデザインシステム	22
⑥ 屋上緑化や新エネルギーの導入の促進	23
2. 回遊性の充実	
⑦ 松が枝から南山手への歩行者導線整備の推進	24
⑧ 路面電車の延伸や運行ルートの検討	25
⑨ 駐車場、パーク&ライドの検討	27
3. 国際ゲートウェイ機能の再構築	
⑩ クルーズ客船の誘致強化	28
⑪ 長崎港クルーズ客船の母港化の推進	29

# 第1章 重点エリアの整備に関する方針

1. 「長崎市中央部・臨海地域」都市・居住環境整備基本計画の概要
  - (1) 長崎が果たすべき役割
  - (2) 整備の基本方針
  
2. 重点エリア指定の経緯
  - (1) 重点エリア指定に至る主な経緯
  - (2) 重点エリアの範囲
  - (3) 重点エリア及び周辺の様況

# 1. 基本計画の概要 (1) 長崎が果たすべき役割

## ①平和の発信地としての役割

○平和学習、平和交流、講演会、イベント等により、被爆の実相を実際に見て、聞いて、学んでもらうなど、被爆地にしかできない取り組みを推進しており、国内外の幅広い年齢層の来訪者にゆっくり見てもらえる「平和の発信地」として整備を推進する。

## ②観光の発祥の地としての役割

○長崎の世界遺産候補等の歴史の魅力や祭り・人々の生活・食等の独特な文化の魅力をはじめ、風景と自然の魅力、産業都市としての魅力、平和都市としての魅力、国際都市としての魅力など息づいている地域の多様な資源を更に磨き上げることが必要である。

○そして、これらの資源を「さるく」というまち歩きも活用しながら、円滑で快適に巡ることができるような環境をつくり上げていくことが必要である。

○これにより、長崎にしかない歴史・文化を守るとともに、さらに発展させ世界中の人々に体験・実感してもらうことが観光の発祥地としての責務である。

## ③国際ゲートウェイとしての役割

○県都としての陸の玄関口、離島への海の玄関口の機能として役割や、東アジアクルーズに優位な位置にある地理的条件や歴史を活かした東アジアへの海の玄関口の機能としても重要な役割を担っている都市であり、観光立国推進の観点から、新幹線を通じて東アジアと国内各地を繋げ、フライ&クルーズ、レール&クルーズの寄港地として国際ゲートウェイ機能を復活させることが長崎の役割である。

# 1. 基本計画の概要 (2) 整備の基本方針(1/3)

## 【地域の目指すべき姿】 平和と文化の国際交流拠点都市 長崎の再生

### ①地域の目指すべき姿

■世界へ被爆者の声や願いを発信し続けてきた長崎市にとって、国連安全保障理事会が核不拡散と核軍縮に関する首脳会議で「核兵器なき世界」の条件作りを目指す決議を採択したことを大きなチャンスと捉え、広島とも連携し、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現に向け、「国際平和都市」として被爆の実相を伝え、平和学習・体験による交流を強化していく。

■観光の発祥の地として、「観光」の原点に立ち返り、長崎のまちや人の「光」を引き出し、磨き上げ、人々に観せることにより、「国際文化交流都市」としての輝きを取り戻し、観光再生により交流人口を拡大し、その経済波及効果により、長崎の活力の再生・向上を目指す。また、その効果を離島や県内各地に波及させることにより長崎県全体の活力の再生・向上を目指す。

### ②目標年次

概ね20年後を想定

### ③整備目標

目標Ⅰ 都市の魅力の強化

目標Ⅱ 回遊性の充実

目標Ⅲ 国際ゲートウェイ機能の再構築

# 1. 基本計画の概要 (2) 整備の基本方針(2/3)

## 目標Ⅰ 都市の魅力の強化

### 整備方針①

平和都市の魅力を磨き、世界に平和を発信する

### 整備方針②

世界遺産候補など、多様な歴史・文化等の資源の魅力を磨く

### 整備方針③

長崎の特色ある街並み景観を保全・形成する

### 整備方針④

コンベンション機能等、官民一体となった都市機能の強化と新たな需要を創出する

### 整備方針⑤

環境に配慮した都市・交通機能を強化する

## 目標Ⅱ 回遊性の充実

### 整備方針⑥

道路・公共交通・歩行者動線等のネットワーク整備を充実・強化する

### 整備方針⑦

さるくまちとしての機能を充実・強化する

## 目標Ⅲ 国際ゲートウェイ機能の再構築

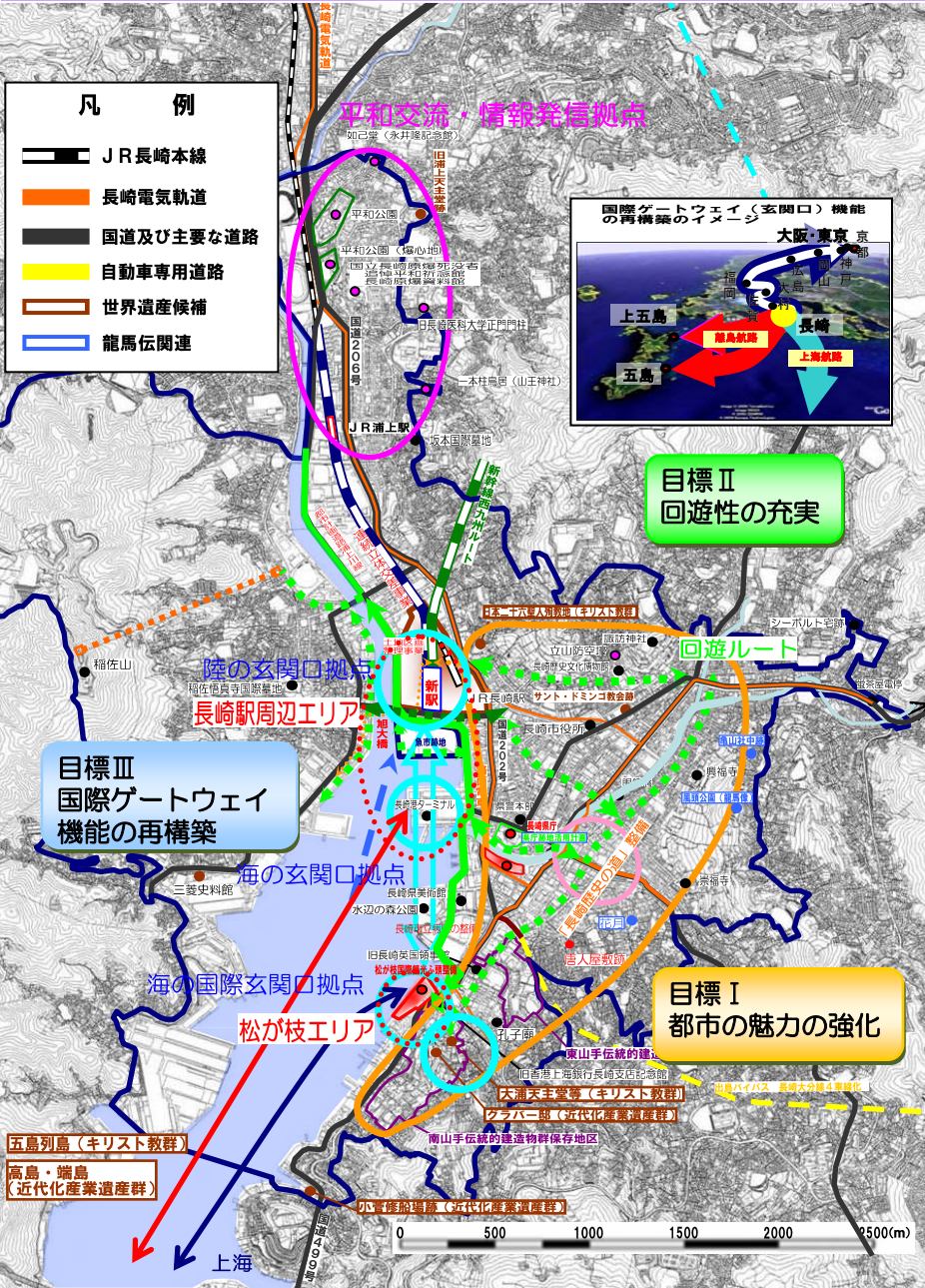
### 整備方針⑧

新幹線と国際・離島航路の接続等により広域交通機能の魅力を強化する

# 1. 基本計画の概要

# (2) 整備の基本方針(3/3)

平成22年3月31日長崎市と県で決定



## 目標Ⅰ 都市の魅力の強化

地域の目指すべき姿

- 整備方針① 平和都市の魅力を磨き、世界に平和を発信する
- 整備方針② 世界遺産候補など、多様な歴史・文化等の資源の魅力を磨く
- 整備方針③ 長崎の特色ある街並み景観を保全・形成する
- 整備方針④ コンベンション機能等、官民一体となった都市機能の強化と新たな需要を創出する
- 整備方針⑤ 環境に配慮した都市・交通機能を強化する

## 目標Ⅱ 回遊性の充実

- 整備方針⑥ 道路・公共交通・歩行者動線等のネットワーク整備を充実・強化する
- 整備方針⑦ さるくまちとしての機能を充実・強化する

## 目標Ⅲ 国際ゲートウェイ機能の再構築

- 整備方針⑧ 新幹線と国際・離島航路の接続等により広域交通機能の魅力を強化する

「平和と文化の国際交流拠点都市 長崎の再生」

概ね20年間の計画

交流人口の拡大

地域の活力の再生

## 2. 重点エリア指定の経緯

### (1) 経緯 (2) 範囲

#### (1) 重点エリア指定に至る主な経緯

○平成20年12月、観光立国を牽引する都市「国際文化観光都市・長崎」を再生するため、国土交通大臣が都市・居住環境整備重点地域として指定

名称：長崎市中央部・臨海地域

区域：1,360ha（うち海域200ha）

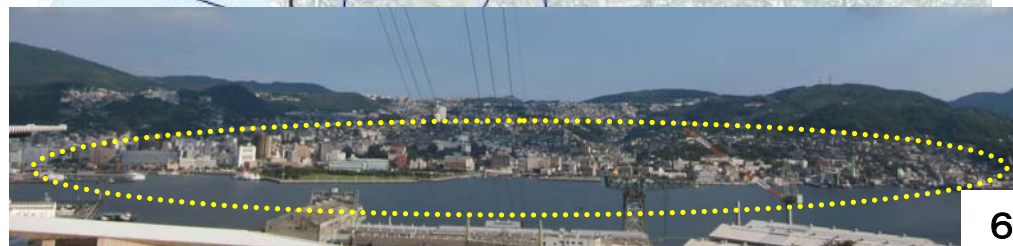
○平成22年3月、長崎市と長崎県が共同して、「長崎市中央部・臨海地域」都市・居住環境整備基本計画を策定、公表

○今回、特に重点的に整備を進める地区について、長崎の都市再生を促進する上で波及効果の大きいエリアとして、「松が枝周辺エリア」を指定

松が枝周辺エリア：約 76 ha

#### (2) 重点エリアの範囲

○海の国際玄関口としての復活と、回遊性の向上を図るため、「長崎駅周辺エリアやまちなかと連携を図りつつ重点的に整備を実施すべき範囲」として指定





## 2. 重点エリア指定の経緯

## (3) 重点エリア及び周辺の状況

### ①松が枝

○長崎港松が枝地区では、日本初の10万総トン級の大型クルーズ客船対応の岸壁の整備が完了

○近年外国籍クルーズ客船の寄港数は国内トップクラスとなっているが、東アジアクルーズにおける九州内での競争が激化

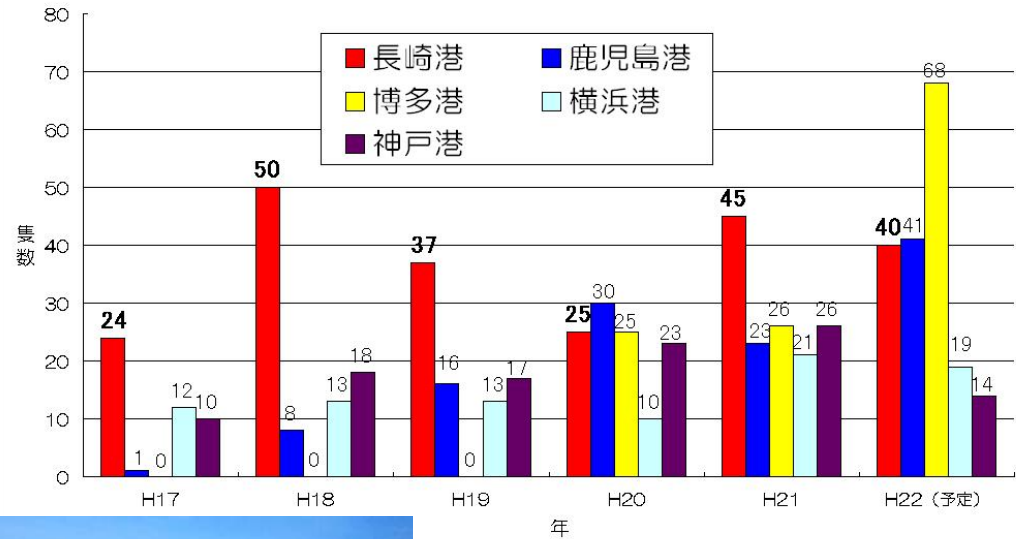
○平成22年3月には国際ターミナルビルが完成し、現在、港湾緑地の整備が進められている

○9月には旧香港上海銀行長崎支店記念館前の歩道橋がバリアフリーと景観配慮のため撤去され、平面横断化された

○長崎港は平成22年8月に国が直轄事業による新規事業を整備できる重点港湾に選定された

○平成24年度に港湾計画の見直しを行う予定

主要観光港の外国籍クルーズ客船入港実績



## 2. 重点エリア指定の経緯

## (3) 重点エリア及び周辺の状況

### ②南山手・東山手

○世界遺産暫定一覧表に登録されている構成資産候補が立地

「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

- ・大浦天主堂
- ・旧羅典神学校
- ・旧大司教館
- ・旧伝道師学校跡

「九州・山口の産業の近代化産業遺産群」

- ・旧グラバー住宅

○南山手・東山手の両地区は重要伝統的建造物群保存地区に選定されている

○「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」は、平成26年度のユネスコの世界遺産委員会での審議・登録を目指す



「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」

構成資産候補〈大浦天主堂〉



「九州・山口の産業の近代化産業遺産群」

構成資産候補〈旧グラバー住宅〉

## 2. 重点エリア指定の経緯

## (3) 重点エリア及び周辺の状況

### ③常盤・出島

○長崎港常盤・出島地区では、長崎水辺の森公園、長崎県美術館、長崎出島ハーバー、「長崎出島ワーフ」などが整備

○「長崎帆船まつり」や「ながさきみなとまつり」など様々なイベントや催し物が開催

○交流拠点用地（残地2.0ha）は、西側0.8haは県美術館の臨時駐車場、南側1.2haは当面の間、県営常盤駐車場（南）として利用

○稲佐山や鍋冠山などから長崎港を中心とした市街地を一望するパノラマの夕景や夜景を見ることができる

○長崎水辺の森公園は場所の印象を高めるために、暖かみのある白を基調としたアクティブな照明を演出

○市民病院と成人病センターの建替えと救急医療、高度医療の充実のため、長崎市新市立病院整備運営事業が進められている



長崎水辺の森公園と長崎帆船まつり



長崎水辺の森公園



長崎県美術館



長崎出島ワーフと長崎出島ハーバー



稲佐山からの夜景



鍋冠山からの夜景



現在の市民病院



イメージ図

新市立病院

## 2. 重点エリア指定の経緯

## (3) 重点エリア及び周辺の様況

### ④交通関係

○国道499号松が枝町の平日の12時間交通量は約3万7千台と著しく多い

○路面電車（5号系統 蛍茶屋～石橋間）が運行されているが、単線区間（大浦海岸と通り～石橋間）が存在

○大浦天主堂電停では、軌道敷の緑化をモデル事業として実施

○市営松が枝町駐車場、市営松が枝町第2駐車場、県営松が枝国際ターミナル駐車場、県営出島駐車場などの公営駐車場のほか、民間駐車場が整備されているが、お祭り・イベント時などにおいては駐車台数が不足

○常盤・出島地区の交流拠点用地は、県美術館臨時駐車場として県営常盤駐車場（西）、南側は用地売却までに一定期間を要することから、当面の間、県営常盤駐車場（南）として利用

順位	路線名	観測地点	H17交通量 (台/12h)	H11 順位	H11交通量 (台/12h)	順位	路線名	観測地点	H17交通量 (台/12h)	H11 順位	H11交通量 (台/12h)
1	一般国道202号	長崎市大黒町長崎駅前	54,768	1	55,636	6	一般国道57号	諫早市小船越町	40,011	6	40,401
2	一般国道34号	諫早市貝津町	47,735	3	48,771	7	一般国道206号	長崎市松山町公園前	39,439	7	40,249
3	一般国道202号	長崎市八千代町44	43,325	2	53,307	8	一般国道499号	長崎市松が枝町資料館前	37,133	10	36,909
4	一般国道35号	佐世保市三浦町	43,090	5	40,958	9	一般国道206号	長崎市赤迫町六地藏前	36,751	8	38,589
5	一般国道35号	佐世保市日宇町	41,215	4	42,993	10	一般国道206号	長崎市大橋町長崎土木事務所前	35,599	—	36,107

H17道路交通センサス



路面電車の軌道敷の緑化  
〈大浦天主堂下電停〉



交流拠点用地の県営常盤駐車場



駐車場位置図

# 第2章 重点エリアの土地利用に関する事項

## 1. 関連する他の計画等の状況

(1) まちなか再生の基本方針

(2) 長崎港港湾計画

(3) 長崎市景観基本計画、景観計画、景観条例（案）

## 2. 土地利用ゾーニング及び骨格基盤施設

# 1. 関連する他の計画等の状況 (1) まちなか再生の基本方針

## (1) まちなか再生の基本方針

○中島川や大浦川の両岸に広がり、歴史的な文化や伝統を色濃く残し、商業・業務・サービスなどの都市機能が集積している古くからの市街地を長崎市の「まちなか」の区域と定め、「まちなか再生基本方針」を平成20年12月に策定した。

○「まちなか」の賑わいの拠点である「中心商業地」、海の玄関口の「水辺のゾーン」、陸の玄関口である「長崎駅周辺」を含めた3つの拠点の連携強化を図ることにより、都心部の求心力を高めて、「まちなか」の活性化を実現していく。

○長崎ならではの歴史や文化など、地域の特性に応じてまちなかを8つのエリアに区分し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。また、エリアごとにまちづくりのコンセプトや方針を次のとおり定める。

### 浜んまち・銅座エリア 長崎文化を体感し、発信する賑わいのまち

- ・商業、飲食や娯楽の魅力を高め、広域からの集客を図ります。
- ・若者が集まり新しい商品や文化を生み出すまちをつくります。
- ・交通の利便性を高めます。
- ・公共の空間を確保します。



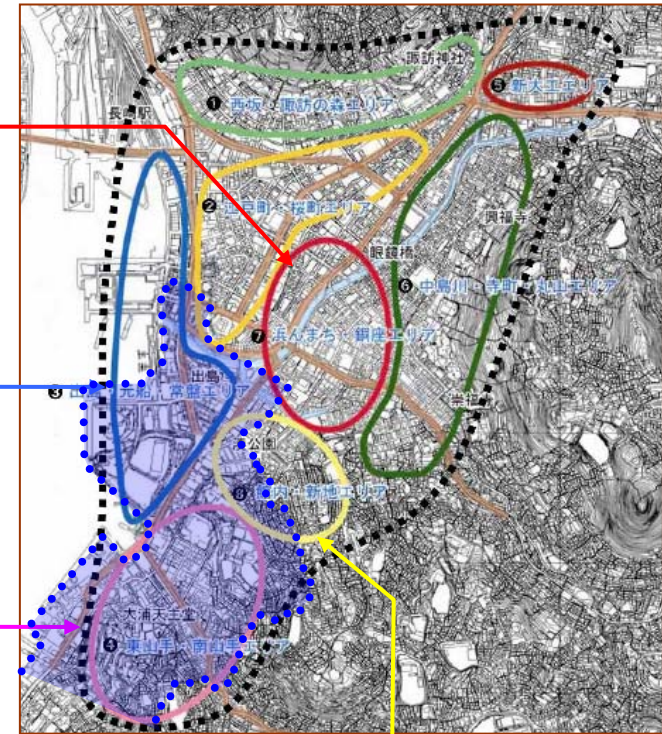
### 出島・元船・常盤エリア みなとまちの風情と芸術のおしゃれなまち

- ・海の玄関口として水辺の雰囲気を感じられ歩きたくなる空間をつくります。
- ・芸術文化を創造発信します。
- ・出島の歴史的魅力を活かした賑わいの回廊をつくります。



### 東山手・南山手エリア 異国情緒あふれる国際交流のまち

- ・長崎市が世界に誇る教会や洋館のまちなみを守ります。
- ・山手の魅力を活かし、国内外の人々との交流を図ります。
- ・活発な地域コミュニティ活動を発展させ、他地域のモデルとします。



### 松が枝周辺エリア

### 館内・新地エリア 中国文化に触れ、食を楽しむまち

- ・唐人屋敷跡を整備し、長崎市の中国文化を顕在化します。
- ・中華街を中心として、食べ歩いて楽しいまちをつくります。



# 1. 関連する他の計画等の状況 (2) 長崎港港湾計画

## (2) 長崎港港湾計画

○平成11年11月に改訂した長崎港港湾計画の目標年次は平成20年代前半である

○平成12年から平成20年までに数度の変更が行われ、平成24年度に現計画が改訂される予定

○港湾計画の方針（平成11年11月改訂時の関連項目抜粋）

- ①港湾内および港湾背後地域への円滑な物流を確保するため、臨港交通体系を充実
- ②港湾における快適な環境の創造を図るため、地域住民等の交流と住環境に配慮した空間を創出
- ③多様な機能が調和し、連携する質の高い空間を整備するため、元船地区南側から松が枝地区にかけての地区は交流拠点ゾーンとする
- ④観光船の大型化に伴い、旅客船ふ頭計画と松が枝地区の水域施設、港における賑わい空間形成の要請に対処するため、緑地を計画

# 1. 関連する他の計画等の状況 (3) 長崎市景観基本計画等

## (3) 長崎市景観基本計画、景観計画、景観条例(案) その1

○長崎市では、10年・20年先の長崎市の将来像を見据えるとともに、まちづくりの3つの方向性を踏まえ、さらに進化した景観づくりへ発展させるため、平成22年度末を目処に「景観基本計画」、「景観計画」の策定や「景観条例」の制定に取り組んでいる。

○長崎市の景観の特徴と景観形成上の課題を踏まえ、「景観基本計画」の基本理念である「**多彩な物語を育む長崎の景観づくり～みんなで語りつくす海・まち・里・山の風景～**」を実現するために、4つの基本方針を設定。

【基本方針1】 魅せる大景観づくり個性を磨く景観づくり

～海・まち・里・山の豊かな表情を活かす景観～

【基本方針2】 個性を磨く景観づくり

～地域の特徴を活かす長崎らしさ溢あふれる景観～

【基本方針3】 愛着のあるまちづくり逆手の魅力づくり

～身近なところからおもてなしの心でつくる豊かな生活景観～

【基本方針4】 逆手の魅力づくり

～斜面、雑然、西端といった制約条件を逆転の発想でつくる景観～



# 1. 関連する他の計画等の状況 (3) 長崎市景観基本計画等

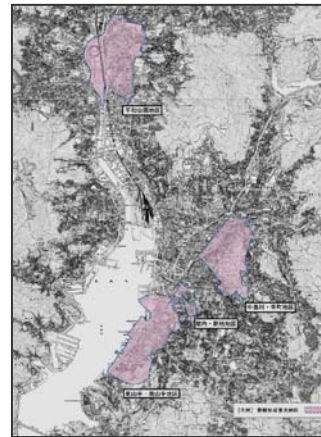
## (3) 長崎市景観基本計画、景観計画、景観条例(案) その2

○「大景観保全地区」として、当エリアでは「見晴らし景観(パノラマ)」の眺望場所として、「グラバー園」「長崎水辺の森公園」の2箇所が選定されている。

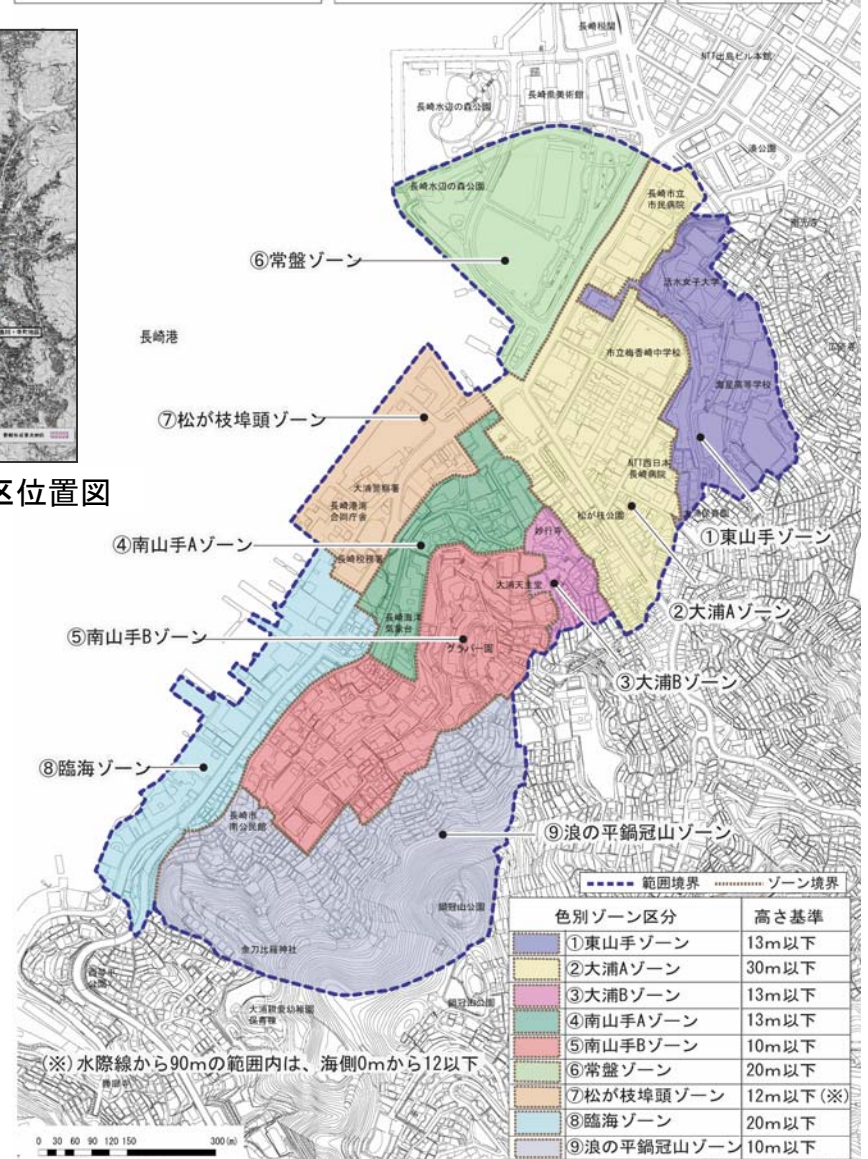
○「景観形成重点地区」の「歴史・文化地区」の内、当エリアでは「東山手・南山手地区」「長崎港内港地区」の2地区について、より積極的な景観まちづくりに取り組んでいくこととされている。

○「景観形成重点地区」の「眺望景観を保全する場所」の例示10地区の内、当エリアでは「大浦天主堂」「長崎水辺の森公園」「オランダ坂」の3地区が掲載され、「眺望景観保全地区」に指定し、景観づくりを進めることとされている。

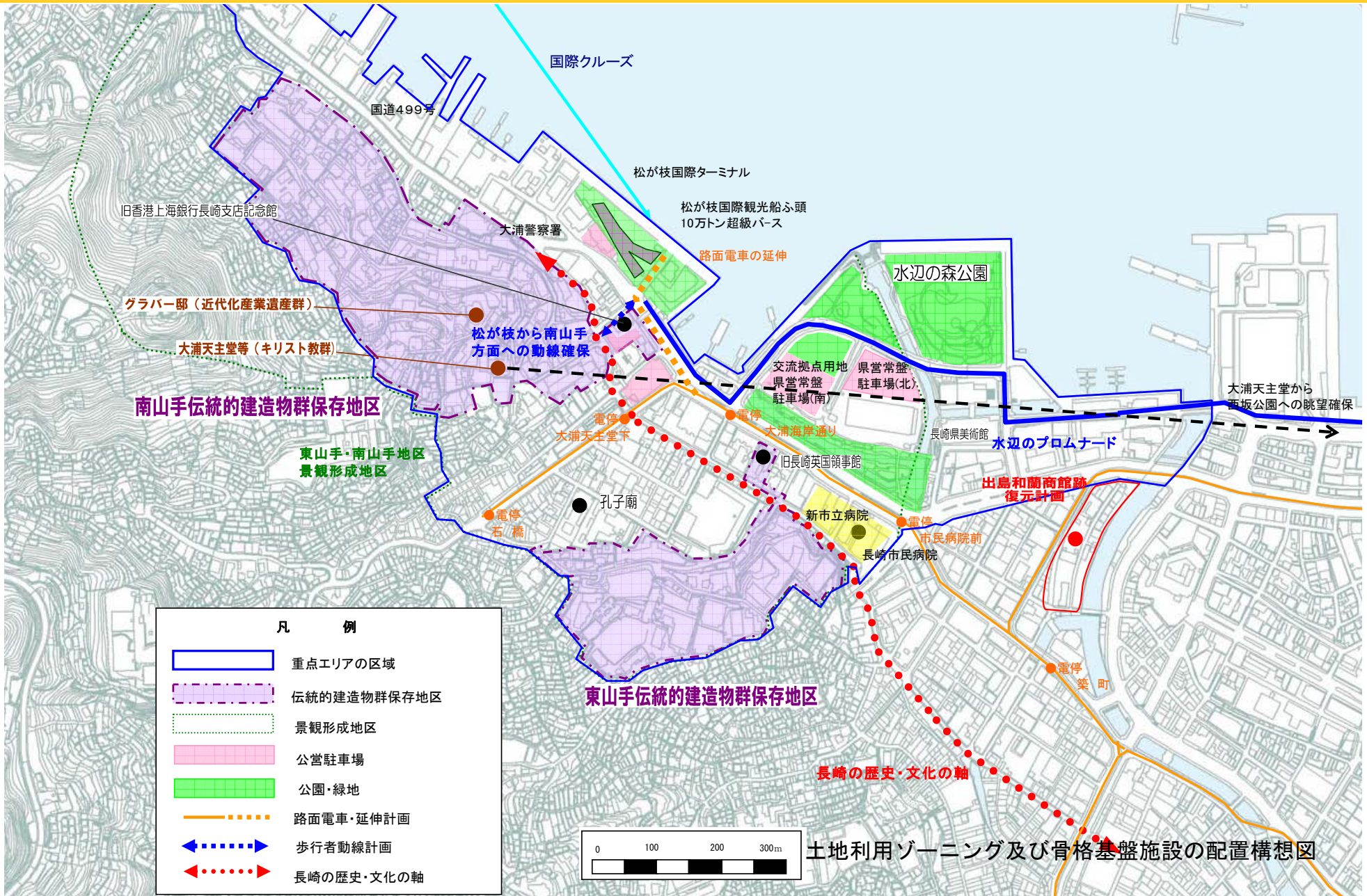
東山手・南山手地区 指定範囲図・ゾーン図 高さ基準



景観形成重点地区位置図



## 2. 土地利用ゾーニング及び骨格基盤施設



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

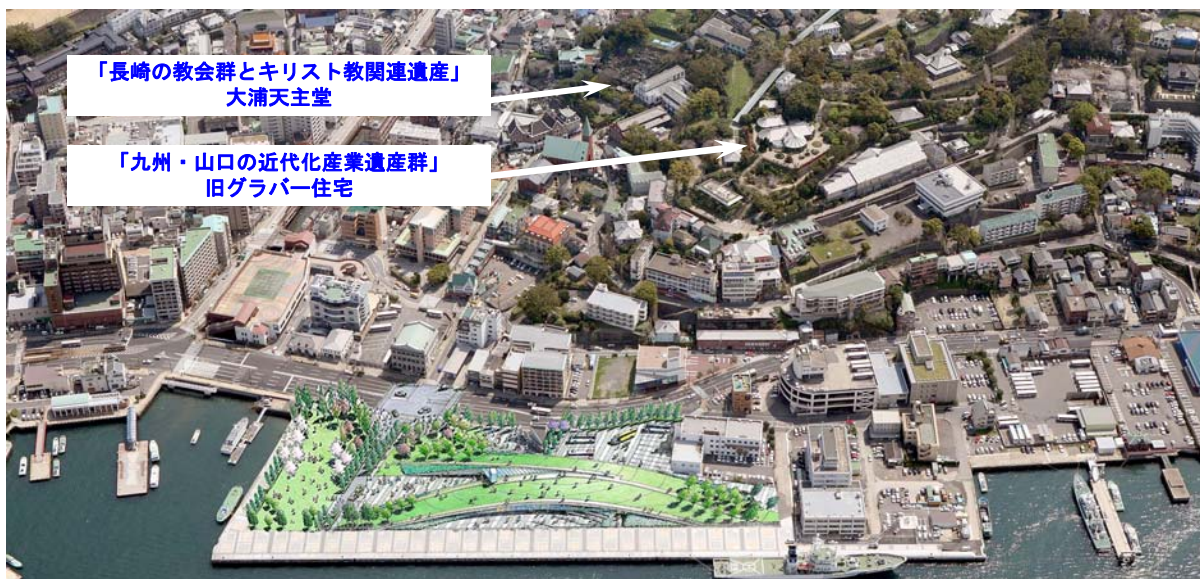
## 1. 都市の魅力の強化

- ① 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」・「九州・山口の近代化産業遺産群」世界遺産登録推進
- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の構成資産候補として大浦天主堂、旧羅典神学校、旧大司教館、旧伝道師学校跡を有する。
- 「九州・山口の近代化産業遺産群」構成資産候補として旧グラバー住宅を有する。
- 2つの世界遺産登録に向けた取り組みを進める。

- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進
- 「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録推進

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

- 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録推進【整備方針②】
- 「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録推進【整備方針②】



「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」構成資産候補  
〈大浦天主堂〉



「九州・山口の産業の近代化産業遺産群」構成資産候補  
〈旧グラバー住宅〉

# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

### ② 「長崎歴史の道」整備の推進

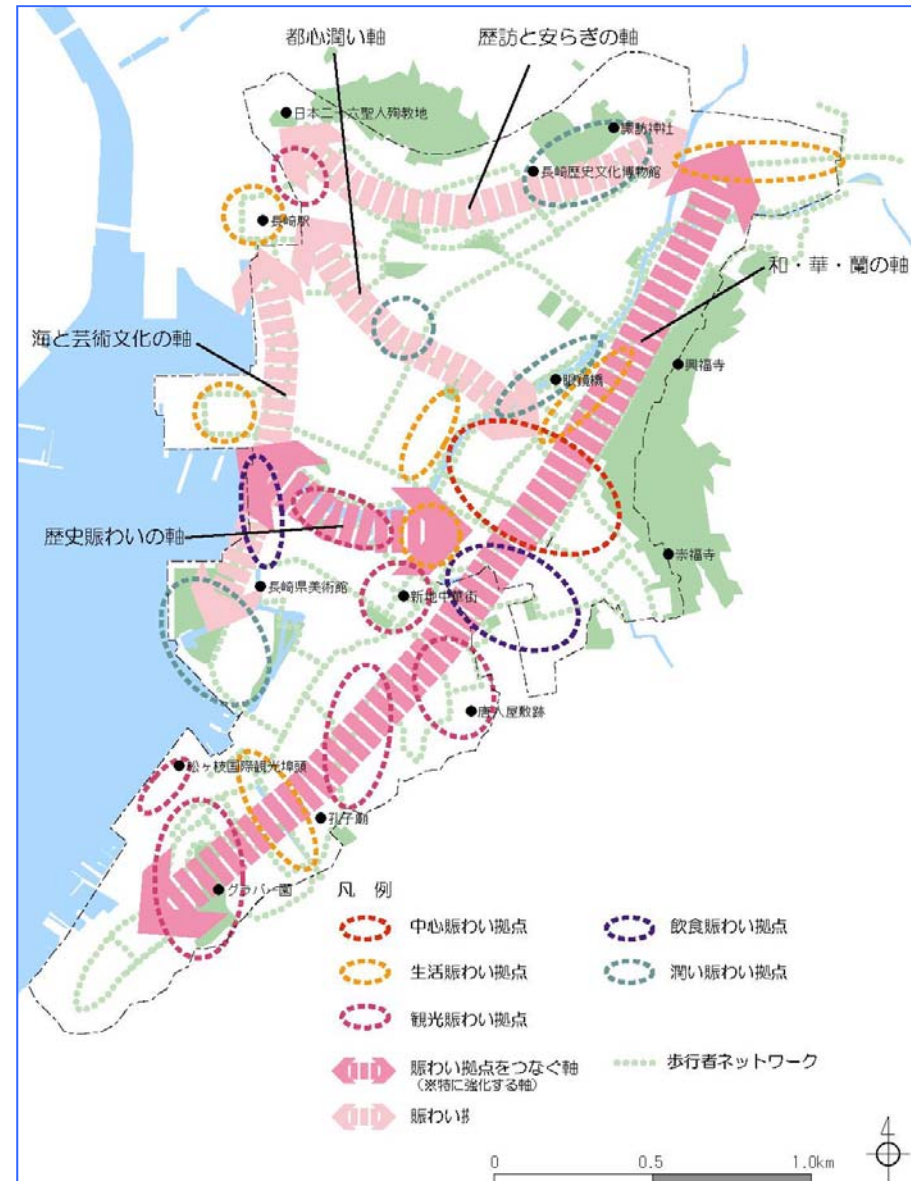
- 「長崎の歴史・文化の軸」の東山手・南山手などの個性漂う地域の魅力を磨くため、10年後を目途として地域の魅力を伝えるトータルデザインを意識した整備を進める。

### ●歩いて楽しいまちづくりの推進

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容  
○「長崎歴史の道」整備の推進【整備方針②】



写真〈長崎歴史の道 旧長崎英国領事館付近〉



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

- ③ 景観条例に基づく景観保全の推進、景観計画による誘導（建築物等の色彩、意匠、高さ規制等）、伝統的建造物群保存地区の保存
  - 景観形成地区である「東山手・南山手地区」は、各ゾーンに応じた景観形成を推進する。
  - グラバー園等の主要な眺望場所からの港や洋館等への眺望、地域の歴史を物語るランドマークやまちなみの景観を保全する。
  - 地域特有の雰囲気がある通りや地域内の景観資源、良好な眺望が見られる場所、主要なバス停や電停を結ぶルート検討を進める。
  - 老朽化した公共施設の移転や建て替えに際しては周辺の建築物等との調和を図る。
  - 西坂公園、水辺の森公園、オランダ坂から大浦天主堂への眺望を確保するため、建物高さの配置を工夫するなど、眺望景観を保全するための景観づくりを進めるとともに、旧英国領事館の修復・活用を行うなど伝統的建造物群保存地区の保存を進める。

- 景観計画による誘導（建築物等の色彩、意匠、高さ規制等）
- 景観条例に基づく景観保全の推進
- 伝統的建造物群保存地区の保存

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

- 地域の特性を活かした街並み景観形成の推進【整備方針②】
- 景観計画による誘導（建築物等の色彩、意匠、高さ規制等）【整備方針②】
- 景観条例に基づく景観保全の推進【整備方針③】
- 伝統的建造物群保存地区の保存【整備方針③】
- 松が枝暫定歩道橋撤去【整備方針③】

# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

③ 景観条例に基づく景観保全の推進、景観計画による誘導（建築物等の色彩、意匠、高さ規制等）、伝統的建造物群の保存



写真 〈南山手からの景観〉



写真 〈大浦天主堂から西坂公園方面の眺望景観〉



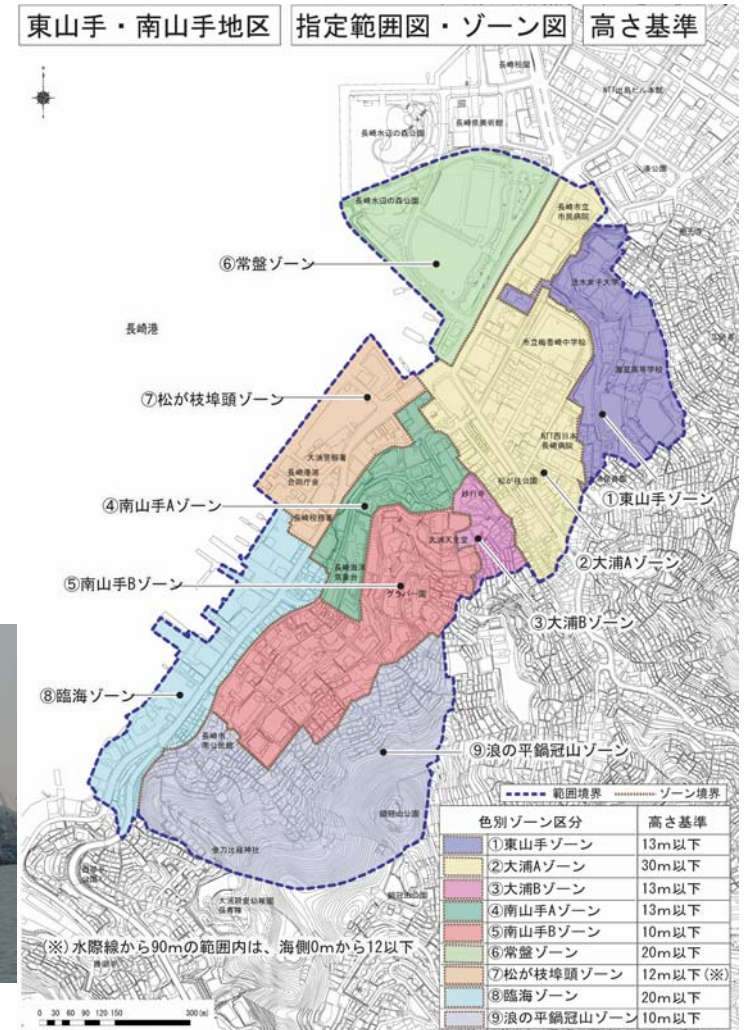
写真

〈オランダ坂から大浦天主堂方面の眺望景観〉



写真

〈景観形成基準（建築物等の高さの限度ライン）〉



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

- ④ 夜間景観の創造（夜間照明・水際のライトアップ）
- まちのシンボルとなる道路や観光上重要な道路、歴史的な建物や地域のランドマークとなる施設などについては、照明による夜ならではの賑わいを演出する。
  - 展望場所の整備などを行うことにより、港と都市の夜景が楽しめる景観づくりを進める。
  - 長崎水辺の森公園等の夜間景観の維持、水際のライトアップの向上に努めるとともに、今後、新たに整備される施設についても、夜景が楽しめる整備に努める。



写真〈稲佐山からの夜景〉

- 【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容
- 夜間景観の創造（夜間照明・水際のライトアップ）【整備方針②】

### 【エリア外の取り組み（長崎市）】

- ・まちなみを一望する稲佐山山頂の展望台を来年4月にリニューアル
- ・稲佐山ロープウェイのゴンドラの一新



写真〈鍋冠山からの夜景〉

# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

### ⑤ 環長崎港地域アーバンデザインシステム

- 環長崎港地域において、県が主体的に関与する公共事業等について、専門家の助言を受けながら調整し、今後も先導性のある都市デザインの実現に取り組む

### ● 環長崎港地域アーバンデザインシステム運営

【今回追加、整備方針③に該当】

#### ■これまでの主な成果

- ◎長崎水辺の森公園（グッドデザイン賞金賞、土木学会デザイン賞優秀賞）
- ◎長崎県美術館（グッドデザイン賞、長崎市都市景観賞）
- ◎中島川万橋（グッドデザイン賞） ◎中島川中央橋（グッドデザイン賞）
- ◎出島ハーバー ◎出島バイパストネル坑口部
- ◎長崎ピースミュージアム ◎AIG長崎ビル
- ◎都市計画道路浦上川線 ◎長崎3大学連携型起業家育成施設
- ◎松が枝国際観光船ふ頭整備（旅客ターミナル）



### ■環長崎港地域アーバンデザインシステムの趣旨

長崎県が主体的に関与しうるプロジェクトについて、長崎港を取りまく固有の景観資源を活かしながら、放置すれば縦割りのバラバラに行われかねない複数の事業を、都市景観形成等の観点から、我が国でも先駆的な取り組みとして、先導性のある都市デザインを適切に展開していく仕組み。

### ■推進体制

#### 環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議

- ・専門家会議は、個別プロジェクトのデザインに係る専門家間の技術的な意見交換、調整及び評価を行う場。
- ・専門家会議のメンバーは、知事がアーバンデザインの専門家にアドバイザーとして委嘱。
- ・現在のメンバー  
伊藤 滋（早稲田大学特命教授）…全体、都市計画、植栽  
篠原 修（政策研究大学院大学教授）…全体、構造物、ランドスケープ  
石井幹子（株石井幹子デザイン事務所代表取締役）…照明  
上山良子（長岡造形大学学長）…ランドスケープ、植栽  
林 一馬（長崎総合科学大学教授）…都市景観、動線  
※ 座長：伊藤 滋、副座長：篠原 修



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 1. 都市の魅力の強化

### ⑥ 屋上緑化や新エネルギーの導入の促進

- 今後、公共施設の新設や改築についても、屋上緑化や太陽光などの新エネルギーの普及促進を高めるための施設整備を推進する。

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

- 公共施設への新エネルギー導入促進【整備方針⑤】
- 電車軌道緑化の促進【整備方針⑤】
- 屋上緑化の促進【整備方針⑤】

事例：平成21年度末完成した松が枝国際ターミナルは、地球環境への負荷を軽減するため、屋上緑化や消費電力の一部を太陽光による新エネルギー供給でまかなっている。



写真〈松が枝国際ターミナル屋上緑化〉



写真〈松が枝国際ターミナル太陽光発電〉



写真〈大浦天主堂電停前の電車軌道緑化〉

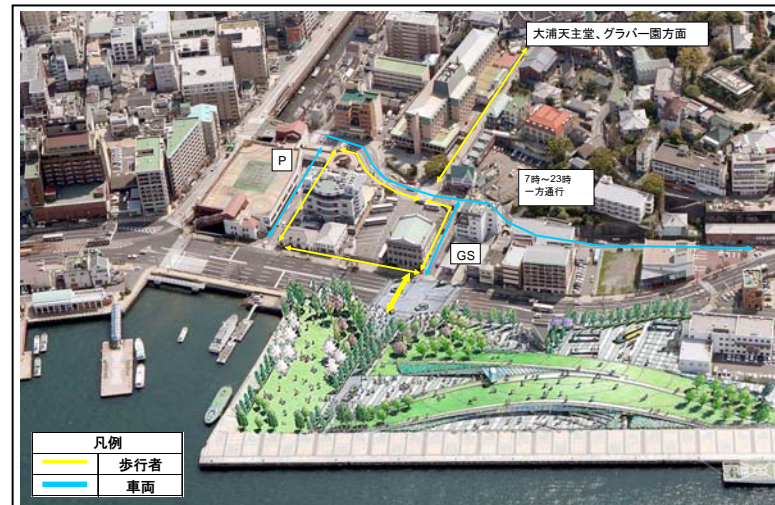
## 2. 回遊性の充実

- ⑦ 松が枝から南山手への歩行者導線整備の推進
- 松が枝国際観光船ふ頭は二つの世界遺産候補や市街地にも近い地理的条件にあり、10万総トン超級の大型客船が接岸できる、世界に誇れる国際観光港である。
- クルーズ客や観光客を松が枝から南山手方面や市街地へスムーズに誘導するため、平成22年に旧香港上海銀行長崎支店記念館前の景観上支障となっていた松が枝歩道橋を撤去して平面横断とした。
- さらに、その先の歩行者導線の検討を進め確保に努める。

### ● 松が枝から南山手方面への歩行者導線整備の推進

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

- 松が枝から南山手への歩行者導線整備推進  
(松が枝暫定歩道橋撤去) 【整備方針⑥】



写真〈松が枝歩道橋撤去前後〉

上段 (撤去前)

下段 (撤去後)

# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 2. 回遊性の充実

### ⑧ 路面電車の延伸や運行ルートの変更の検討

- 長崎駅との広域交通機能の利便性や、市街地や平和公園などの市内観光地への公共交通機能の利便性を高めるために、松が枝方面への路面電車の延伸の検討を進め整備に努める。
- 長崎駅と松が枝・石橋に直行する路面電車の運行ルートの変更の検討を進め整備に努める。

#### ●路面電車の松が枝延伸の検討

#### ●路面電車の石橋・松が枝から長崎駅方面への直行便運行の検討

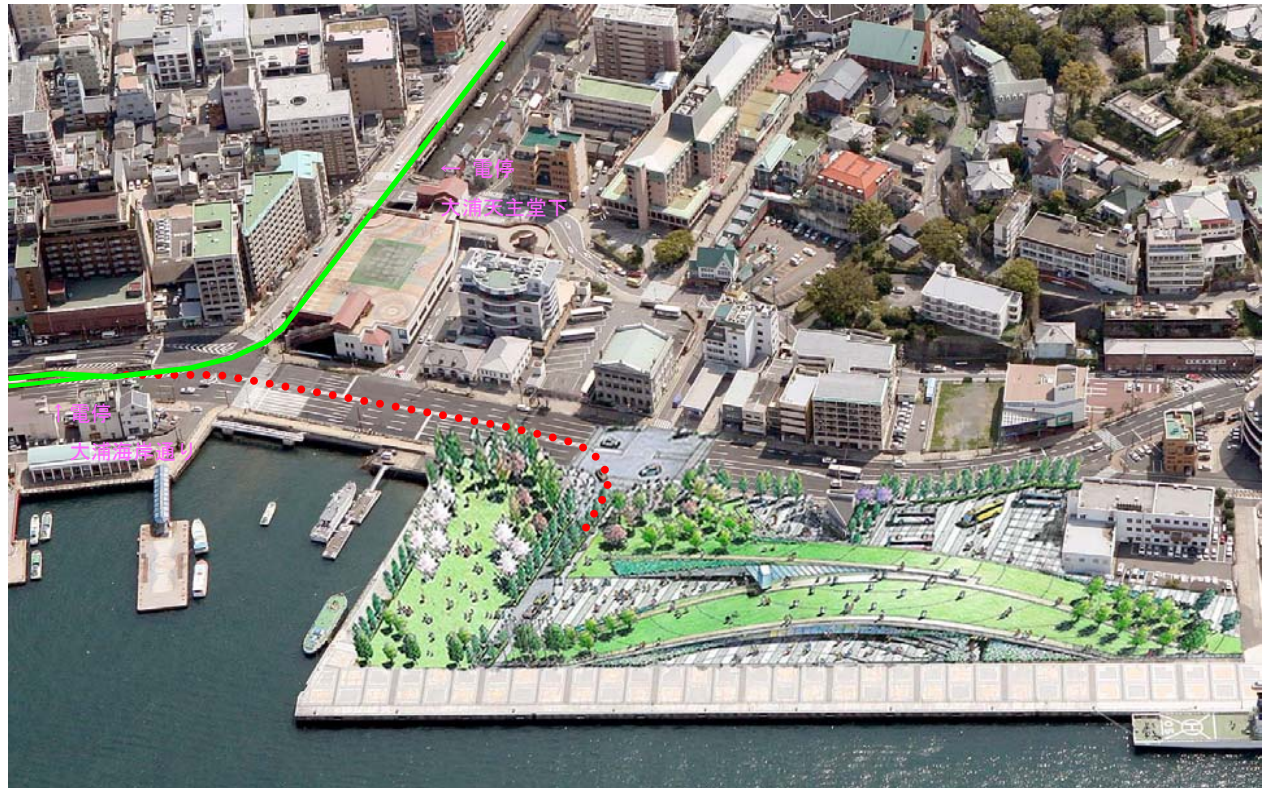


写真〈大浦天主堂電停  
電車を待つ外国人観光客〉



写真〈大浦海岸通電停付近  
での路面電車の混雑状況〉

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容  
○路面電車の延伸や運行ルートの変更の検討【整備方針⑥】



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 2. 回遊性の充実

### ⑧ 路面電車の延伸や運行ルートの変更

- 長崎駅との広域交通機能の利便性や、市街地や平和公園などの市内観光地への公共交通機能の利便性を高めるために、松が枝方面への路面電車の延伸の検討を進め整備に努める。
- 長崎駅と松が枝・石橋に直行する路面電車の運行ルートの検討を進め整備に努める。



# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

## 2. 回遊性の充実

### ㊦ 駐車場、パーク&ライドの検討

- 常盤・出島地区の交流拠点用地に当分の間、常盤県営駐車場（南）（普通車138台、大型バス27台収容）を整備。
- 松が枝国際ターミナルに新たに設置された駐車場の大型バスの駐車台数をより一層確保するため、駐車場拡張について検討を進める。
- 当エリアの駐車場の利用状況を見つつ、交流拠点用地の活用方法についても継続して検討する。
- 公共交通機関のシステムの拡充・強化の検討を進め、駐車場対策、パーク&ライド、路面電車の利用促進等の取り組みを促進する。

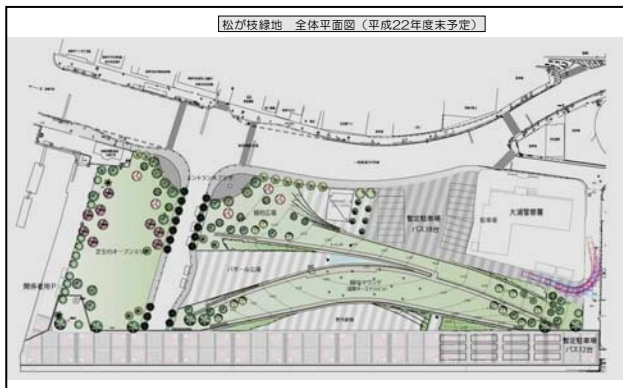
### ●パーク&ライドの検討

### ●松が枝国際観光船ふ頭の整備の推進（駐車場の確保）

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

○パーク&ライドの検討【整備方針⑥】

○松が枝国際観光船ふ頭の整備の推進【整備方針⑧】



写真〈常盤県営駐車場（南）〉



## 3. 国際ゲートウェイ機能の再構築

### ⑩ クルーズ客船の誘致強化

- 「長崎県アジア・国際戦略」のクルーズ客船受入拡大プロジェクトで検討中。
- 国際クルーズ客船入港時の乗客・クルーに対する「日本らしいおもてなし」の演出や岸壁での賑わいづくり（物販等）、日本寄港クルーズ船の長崎への誘致強化、長崎発着フライ&クルーズやレール&クルーズの商品の企画・推進等により、東アジア地域を中心とする外国人観光客や国内観光客の誘致を促進する。

- クルーズ客船入港時のおもてなしの推進
- クルーズ客船受入拡大プロジェクトの推進

【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容

- クルーズ客船入港時のおもてなしの促進(中国人観光客等の浜んまちアーケードツアー)【整備方針⑧】
- フライ&クルーズ・レール&クルーズの推進【整備方針⑧】
- 長崎を起点としたツアー企画等施策の推進【整備方針⑧】



写真 松が枝国際ターミナルでのおもてなし



写真 浜んまちでのおもてなし

# 第3章 重点エリアにおける都市基盤施設の整備等に関する事項

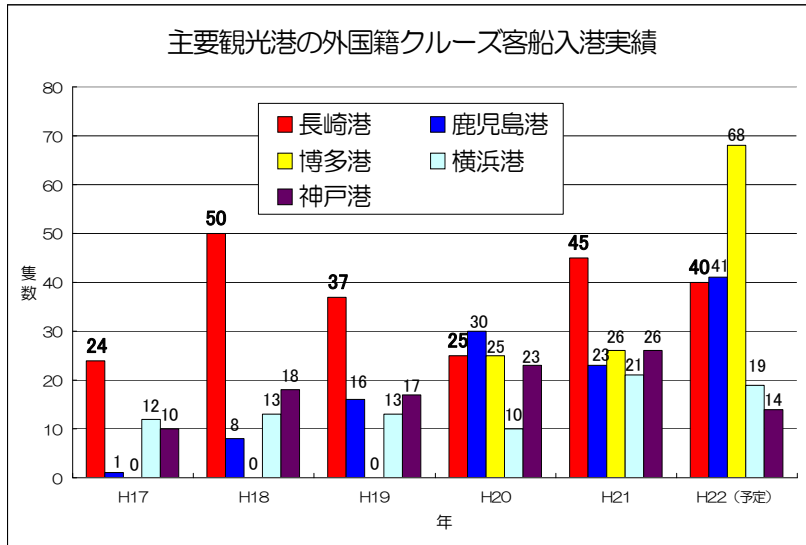
## 3. 国際ゲートウェイ機能の再構築

### ⑪ 長崎港クルーズ客船の母港化の推進

- 長崎が華やいでいた大正から昭和初期の長崎上海航路時代の国際ゲートウェイ機能を再構築するため、クルーズ客船の母港化に向けた施設整備の必要性や課題等について、今後の動向を見ながら、アジア・国際戦略や平成24年度の港湾計画の見直しを行なう中で検討を進める。

### ● 松が枝国際観光船ふ頭の整備の推進

- 【参考】基本計画の整備方針で主な施策として記載した内容
  - 松が枝国際観光船ふ頭の整備の推進【整備方針⑧】

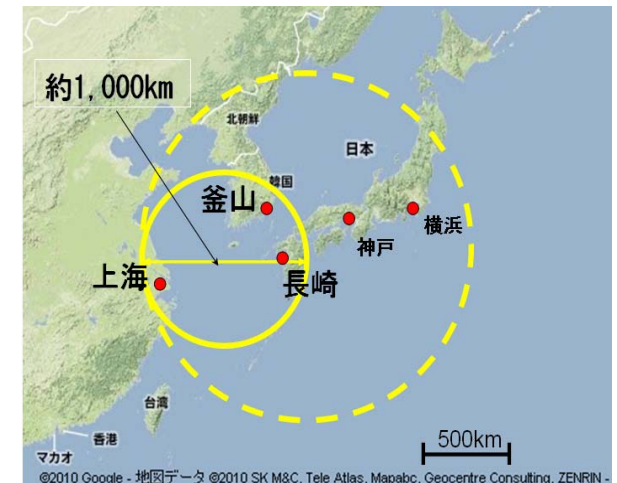


長崎港は、日本有数の寄港地



クイーン・メリー2  
総トン数：151,400トン  
船長：345m  
水面からの高さ：約62m  
平成22年2月17日長崎初寄港

### 長崎港と環黄海都市 (イーストアジアクルーズ)



長崎はイーストアジアクルーズ  
に優位な位置に存在  
(長崎から上海まで800km、  
1泊の船旅)